



地域連携型人材育成事業「IKKAN」の実施について

概要

九州大学では、九州半導体イノベーション協議会（所在：福岡市、九州大学も会員）が平成19年度から取り組んでおります『地域連携型人材育成事業 IKKAN』を、平成20年度学内で単位認定可能な事業として受け入れし、連携して取り組むことといたしました。

IKKANとは、工程別に強みを有する北部九州地域の大手IDM企業や中堅・中小企業等が連携し、工程順に学生を受け入れる実践的な現場体験事業（インターンシップ）です。

※九州半導体イノベーション協議会：

経済産業省が進める半導体産業の集積力を活かした新事業創出プロジェクト「九州シリコン・クラスター計画の推進機関（平成14年5月設立。会長：佐々木 元 NEC会長。会員数：約240会員）九州大学も協議会設立に中心的役割を果たし、その後の企画・立案・運営に積極的に貢献している。

■背景

我が国の半導体産業が競争力を確保していくためには、優れた人材の確保・育成が不可欠です。従来行われてきたインターンシップは単一の企業に滞在して実務を経験するものでしたが、複数の企業の協力の下に複雑な工程を経て完成する半導体産業では、全工程的、企業横断的な視野での学習の重要性が高まっています。

九州大学では平成19年度、半導体イノベーション協議会と連携し、製造工程順（シリコンウエハ・マスクから前工程、後工程、検査まで）に“一貫した”現場体験事業を行うことにより、次世代を担う半導体産業の人材の確保・育成を図る『地域連携型人材育成事業 IKKAN』を、九州大学工学部1、2年生9名に対し実施致しました。今年度は、対象者を拡大し、九州大学工学部3年生を対象に当事業を行います。

■内容

工学部生に専門知識を付与するとともに、その専門性を通じて課題解決力の向上を図るため、半導体の全製造工程（シリコンウエハ・マスクから前工程、後工程、検査まで）の現場を一貫して体験させる『地域連携型人材育成事業 IKKAN』を実施します。

なお、学生は当事業に参加し、必要な条件を満たすことで、大学の単位を取得できます。

(1) 開催時期：

【事前研修】平成20年8月27日（水）

【実地研修】平成20年9月10日（水）から9月25日（木）までのうち10日間前後

【成果報告会】平成20年11月6日（木）

(2) 対象者：九州大学工学部3年生20名程度

(3) 研修場所

■実前研修

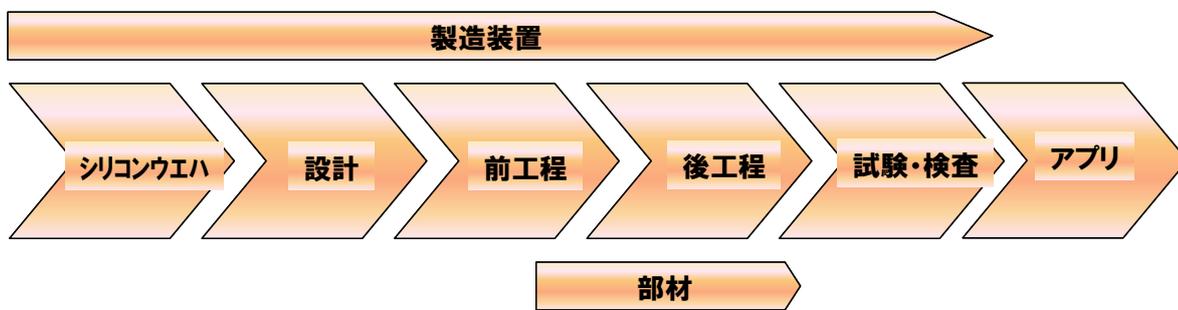
財団法人 北九州産業学術推進機構 (FAIS)

■実践研修<工程別受入企業>

1. シリコンウェハ：調整中
2. 設計：ソニー・エルエスアイ・デザイン株式会社（福岡県福岡市）
3. 前工程：株式会社東芝 セミコンダクター社 大分工場（大分県大分市）
4. 後工程：仲谷マイクロデバイス株式会社（大分県臼杵市）
5. 検査：NECセミコンダクターズ九州・山口株式会社（福岡県柳川市）
6. 製造装置：第一施設工業株式会社（福岡県新宮町）
7. 部材：田中電子工業株式会社（佐賀県吉野ヶ里町）
8. アプリケーション：大分キャノン株式会社（大分県国東市）

■成果報告会

九州大学



【お問い合わせ】

システム情報科学研究院 准教授 金谷 晴一

電話：092-802-3746

FAX：092-802-3720

Mail：kanaya@ed.kyushu-u.ac.jp